

中学校

平成28年度 学力向上に向けた検証改善シート

尾道市立

重井中学校

1 課題

- ・活用問題の正答率が低い。
- ・問題を読み取る力の不足がケアレスミスにつながっている。
- ・時間内の見直しができない。

2 めざす姿

- ・活用問題ができる。
- ・問題をしっかりと読み取り、問い合わせに対する答えを書くことができる。
- ・時間内の見直しを習慣づける。

3 めざす姿に向けた取組の具体

1学期の取組 検証

全国学力・学習状況調査(4月)	全国学力・学習状況調査の検証(9月)
①自校採点をする	①夏休み明けテストで対策問題(過去問題)の正答率を見る。正答率の10%アップを目標値にする。
②課題抽出して傾向と対策を考える。	②「基礎・基本」定着状況調査(6月)
③各教科の授業や宿題で対策問題をする。	①採点をする
④夏休みの宿題にもう一度対策問題(過去問題)をさせる。	②課題抽出して傾向と対策を考える。
⑤各教科の授業や宿題で対策問題をする。	③各教科の授業や宿題で対策問題をする。
⑥夏休みの宿題にもう一度対策問題(過去問題)をさせる。	④夏休みの宿題にもう一度対策問題(過去問題)をさせる。

2学期の取組 検証

全国学力・学習状況調査)	全国学力・学習状況調査の検証
夏休み明けテストの結果の分析(授業で復習)	定期テストでの正答率を見る。正答率の70%を目標値にする。
課題のある問題(過去問題)を中間テストで再度の正答率を見る。	新傾向の公立選抜Ⅱの問題を授業で復習する。
「基礎・基本」定着状況調査(9月)	期末テストで正答率を見る。
夏休み明けテストで対策問題(過去問題)の正答率を見る。正答率の10%アップを目標値にする。	「基礎・基本」定着状況調査(9月)
「基礎・基本」定着状況調査(9月)	定期テストでの正答率を見る。
夏休み明けテストの結果の分析(授業で復習)	正答率の80%を目標値にする。
課題のある問題(過去問題)を中間テストで再度の正答率を見る。	

3学期の取組 検証

全国学力・学習状況調査(2年)	全国学力・学習状況調査の検証
過去問題を計画的に実施して定着を図る。	新学期で対策テスト(休み明け)を行う。(4月)
課題のある問題(過去問題)を学年末に春休み課題にする。	正答率を見る。
「基礎・基本」定着状況調査(1年)	正答率の70%を目標値にする。
過去問題を計画的に実施して定着を図る。	「基礎・基本」定着状況調査
課題のある問題(過去問題)を学年末に春休み課題にする。	新学期から対策問題を定期的に宿題にする。
対策テストを行う。(5月)	正答率を見る。
正答率の80%を目標値にする。	正答率の80%を目標値にする。

4 取組の結果

1年生 市学力調査(4月)

市学力調査

教科	国語(基礎)	国語(活用)	数学(基礎)	数学(活用)	理科(基礎)	理科(活用)	社会(基礎)	社会(活用)
結果 (対県比%)	104.7	85.4	104.4	109.9	93.1	86.8		

2年生 「基礎・基本」定着状況調査(6月)

「基礎・基本」

教科	国語Ⅰ	国語Ⅱ	数学Ⅰ	数学Ⅱ	理科Ⅰ	理科Ⅱ	英語Ⅰ	英語Ⅱ
目標値 (対県比%)	100	100	100	100	100	100	100	100
結果 (対県比%)	72.6	76.6	76.5	56.3	43.2	45.1	81.5	45.3

3年生 全国学力・学習状況調査(4月)

全国学力

教科	国語A	国語B	数学A	数学B
目標値 (対県比%)	100	100	100	100
結果 (対県比%)	64.6	45.9	52.4	40.9

H29「基礎・基本」目標値

(対県比%)
%

2年生 検証()月

教科	国語Ⅰ	国語Ⅱ	数学Ⅰ	数学Ⅱ	理科Ⅰ	理科Ⅱ	英語Ⅰ	英語Ⅱ
目標値 (対県比%)								
取組の結果 (対県比%)								

H29 全国学力目標値

(対県比%)
%

3年生 検証()月

教科	国語A	国語B	数学A	数学B
目標値 (対県比%)				
取組の結果 (対県比%)				